ボーリング柱状図

調査名	災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託(小坪西川)管理用道路	ボーリングNo	
事業・工事名		シートNo	

ボーリング名	R−No.1(ST.No.0L−2m)	調査位置	呉市広小坪 地内 小坪西川地区	北緯	34° 12’35.34”
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成 31年 5月 14日 ～ 31年 5月 16日	東経	132° 38’12.45”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	54.81m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 30°	使用機種	試錐機: TOHO DO−0
総掘進長	6.05m								エンジン: ヤンマーNFAD13 ポンプ: TOHOVG−6

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
1	53.31	1.50		礫質砂	暗黄灰						全体に粘土～細砂主体。表部植物根混入。含水小。 礫径50mm以下の大小の泥質岩角礫多く混入。		5/15 1.70	12				100	86/ケーシング	SC/MB	0.2	70	0	無水/0	0
2	53.31	1.50		砂質礫	暗灰暗黄灰						礫径30～70mmの大小の硬質な泥質岩角礫多く混入。 60mm以上の大礫はクラック多く軟質である。マトリクスはシルト混じり細砂主体。径5mm以下の礫と粗砂主体の薄層部分有。含水小。			8				100			0.2	80	0.1	清水/5	5
3	51.61	3.20												50/5			5/14	100			0.2	80	0.1	清水/5	5
4	50.01	4.80		泥岩	暗灰	C	Ⅳ	d	γ	2	岩芯は硬質であるが、亀裂が縦横に入りコアは短柱状～角礫状。 亀裂沿いは軟質な風化角礫を含む砂質粘土を約20cm毎に入る。 風化していない部分は、ほぼ水平の葉理が見られる。	CL		50/3				100		W/DB	0.2	200	0.1	清水/5	5
5	48.76	6.05			黒灰		Ⅲ		β		硬質岩であり、亀裂が少なく、コアは短柱状～柱状。 亀裂沿いは軟質な風化角礫を含む砂質粘土が薄く入る。 風化していない部分でほぼ水平の層理が見られる。 ｷﾚﾂは高角度の物は波状で不規則。	CM		50/5				100	66		0.2	200	0.1	清水/5	5
6														50/5			5/15								
7																									
8																									
9																									
10																									

コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]

ルジオン標準貫入試験 (P～QN値～深度)図 [ ]：ルジオン値 ( )：換算ルジオン値 《》：限界圧力